



# 下田中学校 研究だより No.3

2020. 7. 8 文責 石崎 千波

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり  
～表現力の育成を中心として～

期末テスト週間に入り、各学級や教科で学習計画を立てて取り組みをしたり、放課後残って学習している生徒たちもいます。今回のAチームの全校総見では、宮本先生の授業から全教科で取り組めることを確認することができました。

全校総見の振り返り 6月30日（火）国語科（3年生） 宮本先生

◇参観の視点：登場人物の変化について描写をもとに捉えること。

	○良かった点	△課題・改善点
①主体的に参加できるようなめあての工夫があったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての提示を全体で確認していた。めあてのみの提示で分かりやすい（学習の見通し）</li> <li>☆学習規律を徹底させるよう常に意識していた。「考えてから発言する」よう何度も促していた。→学習規律の徹底</li> <li>・宿題と内容のリンクがされていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらすじや人物の様子を読みとることが難しい。（理解力）</li> <li>・教師の発問や人物の心情を考えることが難しい。（思考力）</li> <li>*理解させたいことや考えさせたい場面では、選択肢を与えることよいのでは。</li> </ul>
②思考を深めさせる課題や活動の工夫があったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が生徒の意見を、「どうですか」と全体に問い返し。生徒の意見をつなげている。</li> <li>・生徒の反応を観察して、発問や指示を出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人の発表を聞いていない。 →座席の位置を工夫</li> <li>・教科書を確認しているかどうかわからない→<u>ページを明記、拡大 視覚化</u></li> <li>・発問が分かりにくい。→<u>貼る</u></li> <li>・根拠を明確にして伝えることができない。（表現力の育成）</li> <li>→発表の仕方を学び直す（小学校参考）</li> <li>▲学習形態の工夫</li> </ul>

\*1年生への学習支援については、**視覚化とドリル（反復）学習**を進めていくことを確認しました。今回の授業では、宮本先生の指導技術からたくさんを学ばせていただきました。伝えたいことやポイントは大きい声で伝えたり、既習の内容を復習（反復）することで理解を促す場面がありました。また、生徒の様子（理解度）を見ながら発言をつなげるなど、生徒たちは自分の意見を大切にしてくれることでとても意欲的に授業に参加できていました。

◇取り組みたいこと＝①「考えて発言する」学習規律の徹底 ②反復（既習内容を確認する）  
③教材提示の視覚化（キーワードや発問をカード化して貼る等）

▲課題：学習形態の工夫 → 定着を目的とした活動はペアでできるが、思考を深める活動は全体で行う方が効果的ではないか。

今後も引き続き課題解決に向けて研究していきましょう。